

## スギ花粉症舌下免疫療法を終えて（体験談）

新年度がスタートしたと思えば、あっという間に初夏の気配が漂う季節となりました。

大分落ち着いてはきましたが、今年のスギ花粉はここ数年で最大となり花粉症の方にとっては辛い時期になってしまったのではないのでしょうか。

スギ花粉症といえば現在は対症療法だけではなく根治的治療として舌下免疫療法（SLIT）であるシダキュアが登場しています。私も幼少期からのスギ花粉症でしたが SLIT を行い、この時期を楽に過ごすことが出来ました。せっかくですので今回のコラムでは舌下免疫療法を受けた患者として経過などをお話ししてみたいと思います。

私は小学校の低学年にはすでに花粉症で、スギよりは弱かったのですがヒノキ花粉にもアレルギーがあったため2月から5月初旬までは毎年くしゃみ、目や鼻の痒み、鼻水といった症状に悩まされてきました。あまり薬も効きづらくザイザル錠でなんとか痒みを多少抑え眠気に耐えながら仕事をこなしているような状態でした。

そんな私が舌下免疫療法を始めたのは2018年12月と少し遅めの開始でした。花粉が飛散していない時期に開始するので5月から6月にはスタートされる方が多いかもしれません。まだシダキュアが長期処方開始になっていない時期であり、シダトレンという舌下液でスタートしました。

1週間かけて200JAU規格の舌下液を少しずつ増量し、2週目から治療用である2000JAUパックを使用していきました。特に使いはじめの1ヶ月は副作用が出やすいと言われていたため、SLIT開始の1週間前からピラノア錠を数週間程度予防投与していました。そのおかげもあるのか副作用は使い始めの2週間ぐらいで口内炎が一個出来たことと2、3ヶ月ぐらいの間、舌下した直後だけ喉から耳にかけて少し痒みが出たぐらいでした。元々口内炎は出来やすいのでこの口内炎が副作用だったのかははっきりとしていません。2019年の5月からシダキュアの長期処方が解禁になったことでシダトレンからシダキュアに切り替えています。シダキュアの方が常温保存でよく舌下の保持時間が2分から1分に減ったりと使いやすかったですが、シダトレンの方がほのかに甘味があり無味なシダキュアより味は優っていたと思います（個人の感想です）。

切り替えにはシダキュアの新規患者と同様に2000JAUを1週間使用した後治療量の5000JAUにしていきます。シダキュアになってからも副作用は喉や耳が痒いかもしれないぐらいの軽度なもので殆ど気になりませんでした。使い忘れたり、口内炎などで休薬することはありましたが、このまま特に何も起こらず2022年6月大体4年間シダキュアを使用して治療を終えています。

治療効果ですが、まず開始して最初の花粉尘シーズンである2019年、やはり2月中旬辺りから花粉症の症状が出始めました。今までは1ヶ月ぐらいから抗アレルギー薬を飲んでいたのですがSLITがどのくらい効いたのか試そうと頓用内服に変更していました。数日は抗アレルギー薬を内服しましたが、そのうちに花粉が飛ん

でないのではないかと思います。ぐらい花粉症の症状が無くなっていることに気がつきました。マスクをとる度胸が無かったのでマスクはつけたままでしたが、次の年は花粉症対策をしなくてもいいかもしれないと感じるような症状の無さでした。逆にいつもなら花粉症症状が軽くなるヒノキ花粉症の方が相対的に強く症状を感じたぐらいです。

そして2020年、新型コロナが出てきたことでマスク対策はしていましたが、やはり抗アレルギー薬を内服しなくても花粉症症状は全く無くなりました。そして驚いたことにヒノキ花粉症に対しても効果が発現し、抗アレルギー薬を飲まなくても問題ない程度に落ち着きました。当時はあまり分かっていなかったのですが、スギとヒノキのアレルゲンであるタンパク構造が似ているためヒノキ花粉症にもシダキュアは効果を示すそうです。そして2021年にはヒノキ花粉にも全く反応しなくなりました。

2023年シダキュアを終了して初の花粉症シーズン。例年の数倍といわれる花粉飛散量でしたが特に花粉症症状が現れることはスギ花粉でもヒノキ花粉でもありませんでした。SLITの効果は永続的では無いのですが、終了した後も使用していた期間以上は続くといわれています。

SLITを行ってみて、確かに毎日舌下内服しこまめに通院をするのは大変ではありました。ただ2月から5月の時期のQOLは今までと比べものにならないぐらい改善しています。毎日目を取り出して洗いたい、鼻をかみすぎて鼻血が出たり、鼻の下がピリピリ痛んで化粧水がしみる…そんな辛い症状が無くなって本当に楽になりました。

ただ私のように全く花粉症症状がなくなるのはそこまで多くはありません。販売前の治験では六割が症状の改善がみられその中の二割が私のように寛解に至ったようです。効果の出ない患者もいるのですが、治療前の効果予測は今の所出来ません。

販売開始して症例が増えてからは、八割程度の患者に何らかの症状の改善がみられているそうです。今年の花粉で大変だったと感じていたら舌下免疫療法も是非検討してみてください。

(文 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 薬剤部 柳田絢子)